

兵庫県下の経済動向

平成30年11月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、一部に台風の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大している。

輸出は増加基調にあり、個人消費は基調としては緩やかに持ち直している。
また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は弱めの動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が前年を下回った。

家電販売は、前年を上回った。

乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共工事請負金額は、前年を下回った。

貿易は、EUを中心に減少したため、輸出は前年を下回った。輸入についても、前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を下回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

兵庫C I及び兵庫D Iから見た県内の景気動向

8月の兵庫C Iは、先行指数100.4、一致指数116.8、遅行指数103.7となった。

8月の兵庫D Iは、先行指数14.3%、一致指数62.5%、遅行指数56.3%となった。

兵庫C Iは、先行指数が2か月連続で前月差減、一致指数が2か月ぶりに前月差増、遅行指数は6か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、横ばい局面を示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は96.7、前月比4.9%減で2か月ぶりに減少、出荷指数は96.3、同7.0%減で2か月ぶりに減少、在庫指数は115.4、同0.0%で横ばいであった。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比2.4%減で4か月連続で減少、出荷は同3.4%減で3か月ぶりに減少、在庫は同2.4%増で15か月連続で増加した。

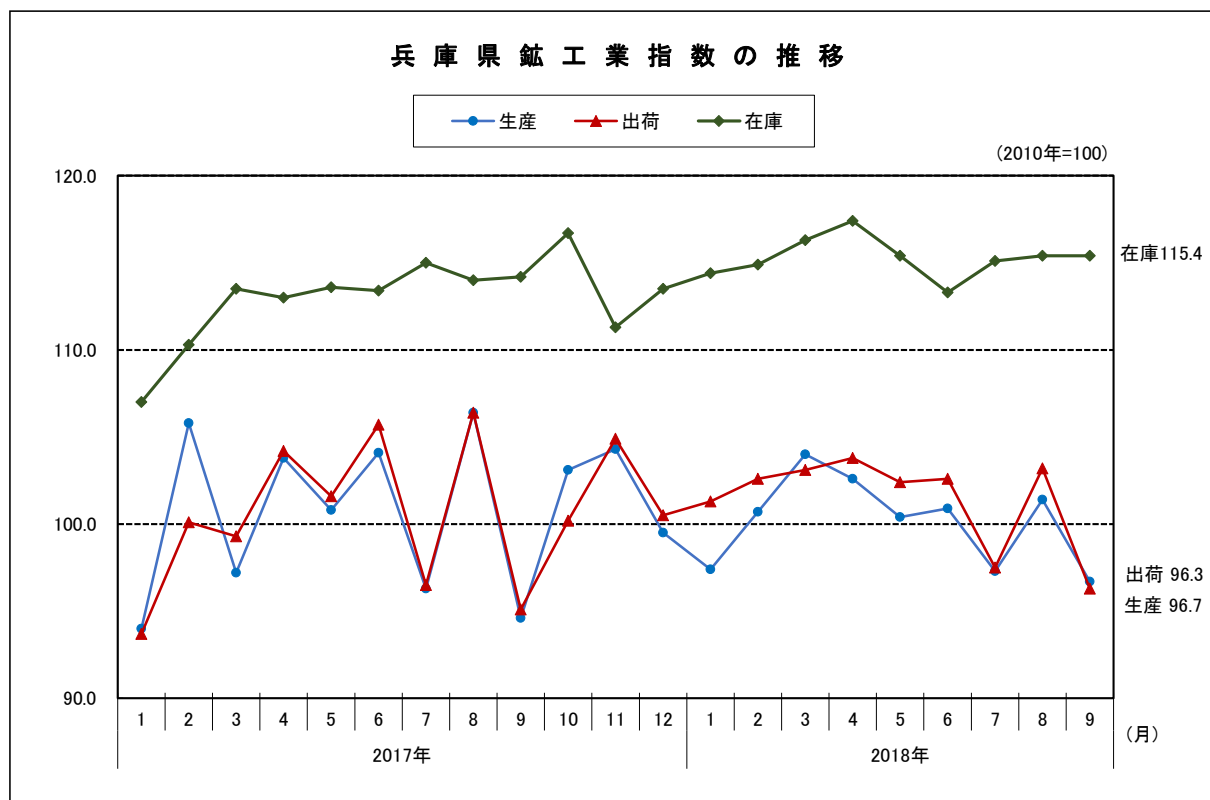
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「金属製品工業」(ねじり棒ばね等)が0.9%各々増加し、「鉄鋼業」(H形鋼等)が7.1%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(圧縮機等)が11.2%、「電気機械工業」(開閉制御装置)が12.7%、「情報通信機械工業」(カーナビゲーション等)が8.2%、「輸送機械工業」(船用ディーゼル機関等)が3.0%、「窯業・土石製品工業」(ファインセラミックス(構造材等)が1.3%、「化学工業」(医薬品等)が5.2%、「食料品工業」(精米等)が4.3%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「一進一退で推移している。」とした。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	原 指 数		
		対前月比 増減 (%)	原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	96.7	▲ 4.9	101.0	▲ 2.4
出 荷	96.3	▲ 7.0	100.6	▲ 3.4
在 庫	115.4	0.0	117.5	2.4
在 庫 率	126.1	▲ 18.2	129.7	13.5

資料：兵庫県企画県民部統計課



9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	88.7	▲ 7.1	上昇	ブリキ、普通鋼鋼帯、鉄系鍛工品、フェロアロイ
			低下	H形鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材、亜鉛めっき鋼板、鋳鉄管
金属製品 工業	89.9	0.9	上昇	ねじり棒ばね、ガス湯沸器、超硬チップ、ガス温風暖房機
			低下	ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、PC鋼より線、鋼索
はん用・生産 用・業務用 機械工業	90.8	▲11.2	上昇	蒸気タービン部品、機械式駐車装置、プレイバックロボット、ダイヤモンド工具
			低下	圧縮機、ボイラ部品、集じん機器、混合機・かくはん機・粉碎機
電気機械 工業	114.3	▲12.7	上昇	一般用タービン発電機、一般用エンジン発電機、保護継電器、気がま
			低下	開閉制御装置電、リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、クッキングヒーター
情報通信 機械工業	100.2	▲ 8.2	上昇	テレメータ・テレコントロール、無線位置測定装置、入出力装置、カーオーディオ
			低下	カーナビゲーション、ノート型パソコン、携帯電話、レーダ装置
輸送機械 工業	122.0	▲ 3.0	上昇	旅客車、機体部品、二輪自動車(125ml超)、特殊自動車
			低下	船用ディーゼル機関、発動機部品、懸架制動装置部品、内燃機関電装品
窯業・土石 製品工業	105.2	▲ 1.3	上昇	セメント、せっこうボード、不定形耐火物、プレストレストコンクリート製品
			低下	ファインセラミックス(構造材)、遠心力鉄筋コンクリート管、ほうろう鉄器製品、ガラス製容器類
化学工業	104.9	▲ 5.2	上昇	無水酢酸、ポリスチレン、塩化ビニル樹脂、溶剤系合成樹脂塗料
			低下	医薬品、自動車排気ガス浄化用触媒、化粧品、アクリル酸エステル
食料品工業	84.5	▲ 4.3	上昇	清酒、肉製品、配合飼料、乳飲料
			低下	精米、ビール類、冷凍調理食品、砂糖

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた9月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比7.7%減の98億72百万円と、13か月連続で前年実績を下回った。

2度の台風接近に伴う臨時休業や浸水被害を受けた関西空港の一時閉鎖で訪日客数が減少に転じたことなどが影響した。

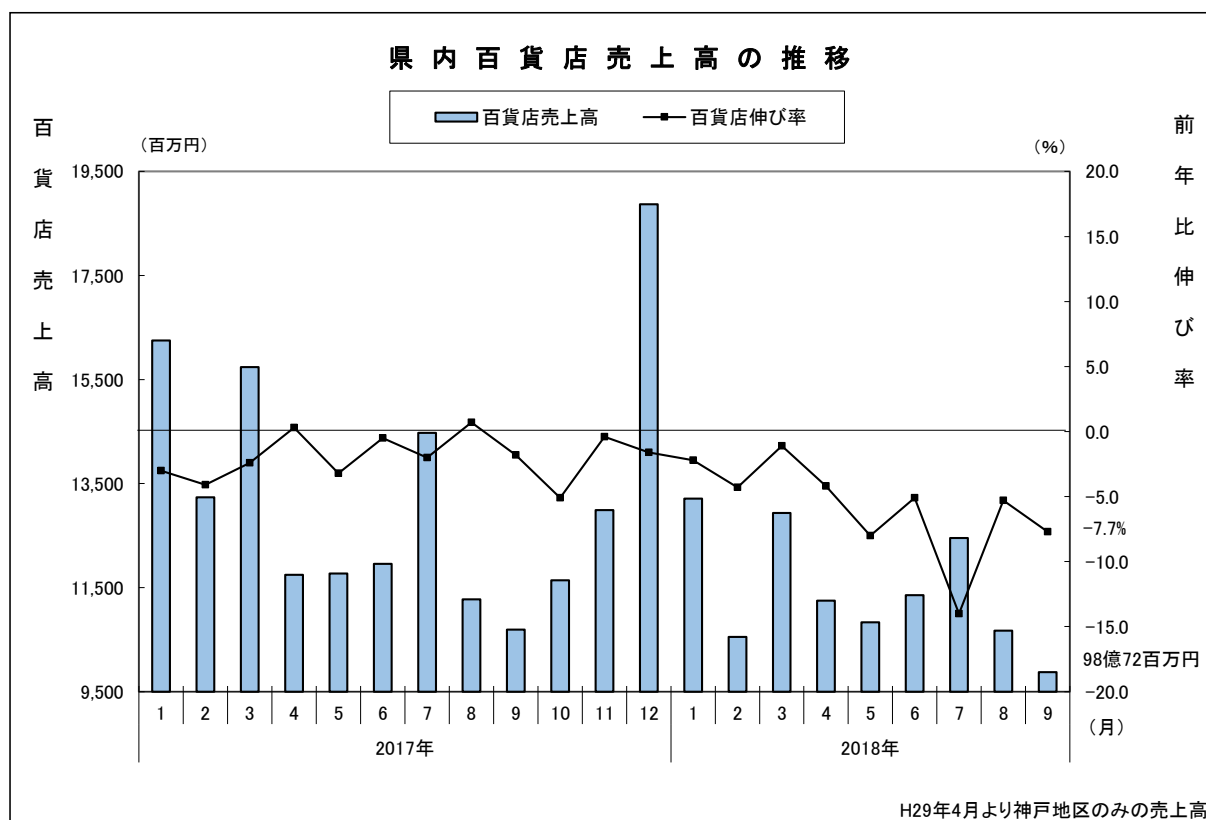
減少が目立ったのが衣料品。このうち「婦人服・洋品」が12.8%減り、「子供服・洋品」が14.7%減だった。海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」は6.6%減った。好調だった化粧品も0.6%減とマイナスに転じた。

一方、プラスを維持したのが「紳士服・洋品」。同協会は「急に気温が下がり、秋物に加えて冬物コートなど単価の高い商品が売れたようだ」としている。

9月の神戸地区の百貨店売上高

品目	売上高	前年同月比
紳士服・洋品	518	4.0
婦人服・洋品	3,194	▲12.8
子供服・洋品	205	▲14.7
その他衣料品	157	▲9.8
身のまわり品	813	▲6.6
雑貨	1,690	0.0
家庭用品	360	▲7.6
食料品	2,595	▲6.9
食堂・喫茶	223	▲15.4
サービス	44	▲23.3
その他	68	22.2
計	9,872	▲7.7

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、% 資料：日本百貨店協会



【個人消費】『新車登録』

県内10月の乗用車新車登録台数は14,216台、前年同月比14.5%増と2か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

10月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,498台(前年同月比12.5%増)、小型乗用車は3,800台(同15.1%増)、軽乗用車は4,918台(同16.4%増)、乗用車合計で14,216台(同14.5%増)となった。

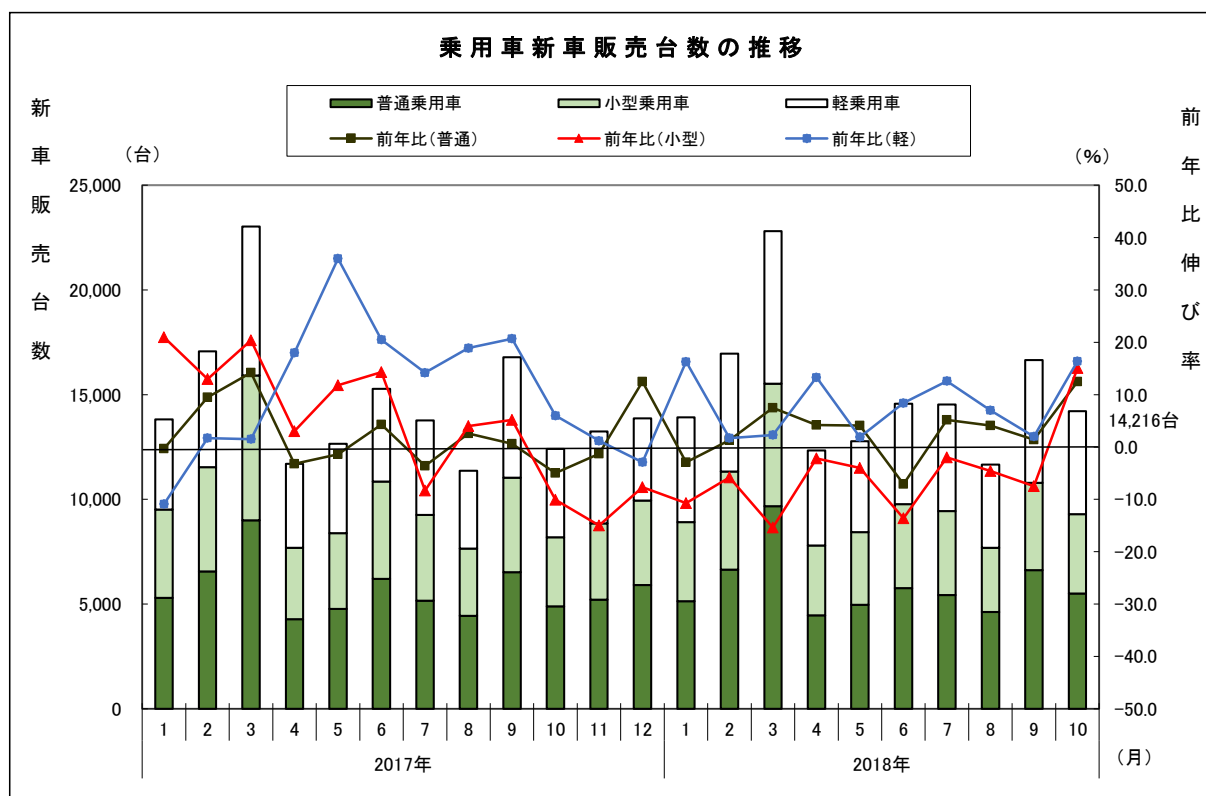
また貨物車等では、普通貨物車は430台(前年同月比22.2%増)、小型貨物車は702台(同39.0%増)、軽貨物車は1,472台(同16.7%増)、バスは41台(同272.7%増)となった。

10月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,498	12.5	123,288	13.8
小型乗用車	3,800	15.1	103,884	12.7
軽乗用車	4,918	16.4	119,697	8.6
乗用車合計	14,216	14.5	346,869	11.6
普通貨物車	430	22.2	13,300	8.7
小型貨物車	702	39.0	20,139	12.9
軽貨物車	1,472	16.7	37,735	23.1
貨物車合計	2,604	22.9	71,174	17.2
バス	41	272.7	943	▲ 0.3
登録車総計	16,861	15.9	418,986	12.5

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が11月8日に発表した機械受注統計によると、平成30年9月実績は以下のとおり。

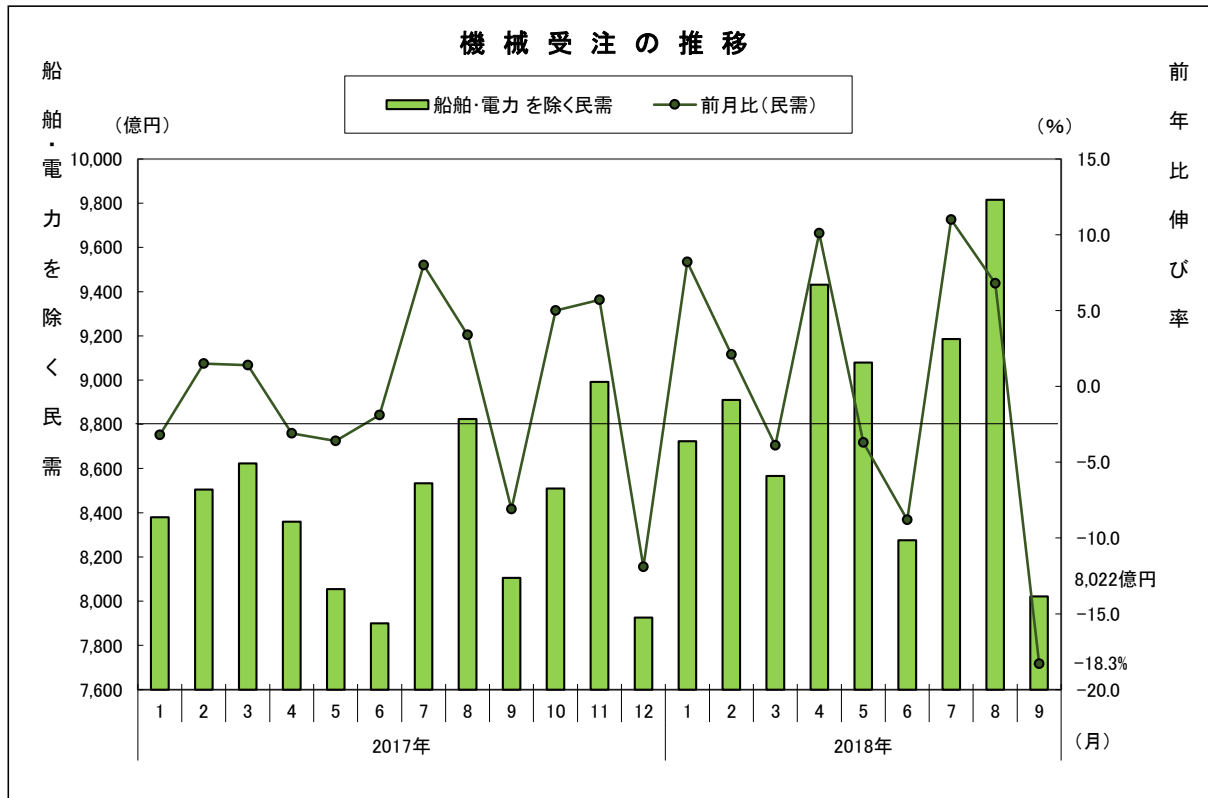
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成30年8月前月比1.8%増の後、9月は同17.8%減の2兆2,014億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比6.8%増の後、9月は同18.3%減の8,022億円となった。

内訳をみると、製造業は同17.3%減の3,764億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同17.1%減の4,339億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、パルプ・紙・紙加工品(100.3%増)、その他輸送用機械(14.6%増)、窯業・土石製品(4.2%増)、「その他製造業」(0.9%増)等の4業種で、はん用・生産用機械(4.4%減)、業務用機械(8.8%減)、情報通信機械(9.4%減)、金属製品(17.9%減)、造船業(19.3%減)、電気機械(20.6%減)、鉄鋼業(22.4%減)、石油製品・石炭製品(23.7%減)、自動車・同付属品(25.1%減)、非鉄金属(41.4%減)、繊維工業(45.2%減)、食品製造業(47.7%減)、化学工業(67.0%減)等の13業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(19.0%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(15.8%増)、不動産業(14.8%増)、通信業(4.4%増)、農林漁業(4.0%増)等の5業種で、建設業(4.5%減)、「その他非製造業」(6.6%減)、情報サービス業(13.3%減)、金融業・保険業(26.3%減)、卸売業・小売業(34.0%減)、電力業(36.4%減)、運輸業・郵便業(61.9%減)等の7業種は減少となった。



機 械 受 注 統 計 (平成 30 年 9 月分)

	2017 年 10～12 月 実績	2018 年 1～3 月 実績	4～6 月 実績	7～9 月 実績	10～12 月 見通し	2018 年 6 月 実績	7 月 実績	8 月 実績	9 月 実績
受注総額	75,185 (4.0) [3.6]	71,213 (-5.3) [4.6]	73,094 (2.6) [6.3]	75,083 (2.7) [2.6]	76,323 (1.7) [3.8]	22,139 (-14.4) [-3.4]	26,304 (18.8) [11.5]	26,765 (1.8) [5.2]	22,014 (-17.8) [-5.8]
民 需	31,466 (3.1) [-4.1]	30,372 (-3.5) [0.6]	31,806 (4.7) [9.2]	32,782 (3.1) [5.7]	33,589 (2.5) [9.3]	10,289 (-5.9) [0.8]	11,435 (11.1) [18.5]	11,883 (3.9) [17.6]	9,463 (-20.4) [-10.0]
〃 (Ex 船・電)	25,366 (0.3) [0.0]	26,198 (3.3) [0.2]	26,786 (2.2) [8.0]	27,023 (0.9) [4.8]	28,004 (3.6) [10.5]	8,276 (-8.8) [0.3]	9,186 (11.0) [13.9]	9,815 (6.8) [12.6]	8,022 (-18.3) [-7.0]
製造業	11,873 (3.5) [13.3]	12,168 (2.5) [10.6]	12,835 (5.5) [17.8]	12,583 (-2.0) [8.5]	13,827 (9.9) [14.9]	3,818 (-15.9) [6.6]	4,268 (11.8) [21.2]	4,551 (6.6) [13.9]	3,764 (-17.3) [-5.5]
非製造業 (Ex 船・電)	13,602 (-2.1) [-9.7]	14,070 (3.4) [-6.9]	14,019 (-0.4) [0.3]	14,515 (3.5) [2.0]	13,998 (-3.6) [6.6]	4,454 (-7.0) [-4.6]	4,941 (10.9) [7.7]	5,235 (6.0) [11.6]	4,339 (-17.1) [-8.0]
官 公 需	7,562 (-5.0) [-12.7]	7,075 (-6.4) [-7.8]	7,607 (7.5) [1.1]	9,314 (22.4) [19.5]	7,590 (-18.5) [4.9]	2,284 (-16.7) [-17.1]	3,587 (57.0) [34.1]	2,830 (-21.1) [-3.6]	2,897 (2.4) [25.6]
外 需	30,985 (0.6) [17.7]	30,471 (-1.7) [14.3]	30,086 (-1.3) [5.4]	29,616 (-1.6) [-4.3]	30,886 (4.3) [-1.6]	9,250 (-12.0) [-3.2]	9,801 (6.0) [1.2]	10,569 (7.8) [-2.7]	9,246 (-12.5) [-10.2]
代 理 店	3,644 (-1.4) [2.8]	3,656 (0.3) [1.7]	3,835 (4.9) [0.0]	3,750 (-2.2) [1.8]	3,928 (4.7) [7.9]	1,157 (-15.8) [-10.3]	1,285 (11.0) [4.5]	1,218 (-5.2) [-2.3]	1,247 (2.4) [2.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工総数は2,240戸(前年同月比16.9%減)となり前年を下回り、前月比でも266戸の減少となった。

また、利用関係別では「持家」が819戸(前年同月比4.4%減)、「貸家」が911戸(同26.3%減)、「分譲住宅」が501戸(同15.8%減)となった。

9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	819	▲ 4.4	24,873	0.0
・分譲住宅	501	▲ 15.8	21,064	4.3
貸家系・貸家	911	▲ 26.3	35,350	▲ 5.8
・給与住宅	9	12.5	616	18.0
総数	2,240	▲ 16.9	81,903	▲ 1.5

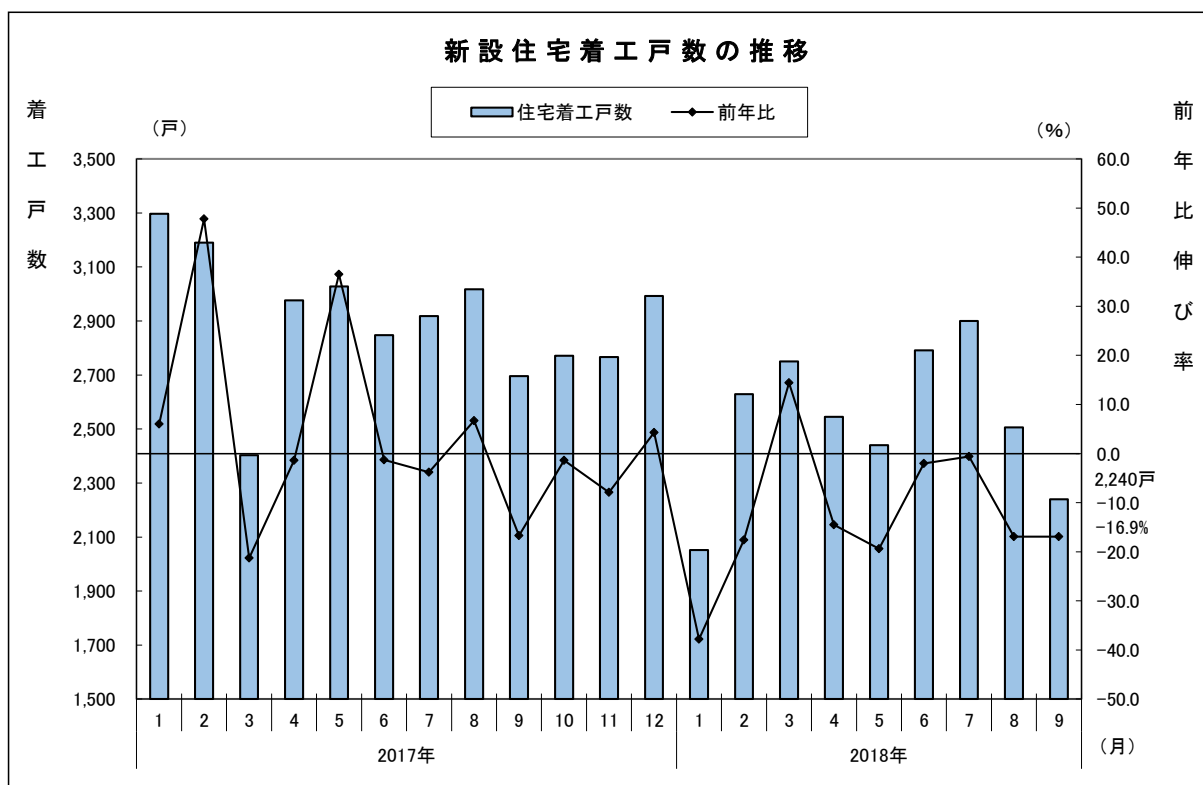
資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

9月の地域別着工戸数

(単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	523	527	244	296	88	365	70	17	76	34	2,240
前月比	43.3	▲26.3	▲25.4	▲17.8	▲38.0	13.0	▲18.6	▲69.1	▲19.1	▲12.8	▲10.6

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は488件で前年同月比14.2%の減少、請負金額は308億75百万円で前年同月比3.2%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「兵庫県」前年同月比62.1%、「神戸市」同26.8%増加したが、「神戸市を除く市町」同11.2%、「独立行政法人等」同14.4%、「その他の団体」同53.1%、「国」同71.7%の減少となったため、前年同月比3.2%の減少となった。

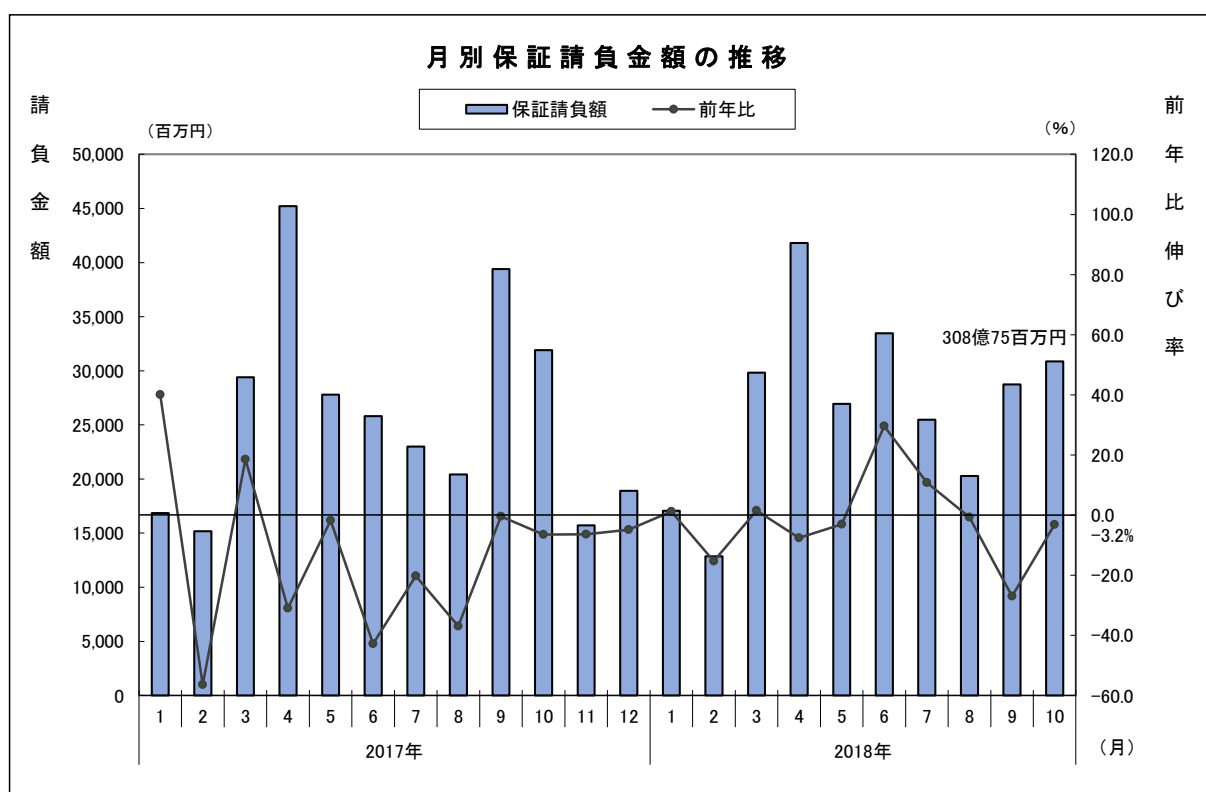
地域別(金額ベース)では、西播磨(前年同月比103.5%増)、中播磨(同63.6%増)、北播磨(同58.7%増)、但馬(同32.6%増)、阪神南(同17.9%増)が増加したが、淡路(同5.4%減)、東播磨(同10.4%減)、阪神北(同27.0%減)、神戸市(同41.3%減)、丹波(同76.0%減)が減少したため、前年同月比3.2%の減少となった。

10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	14(▲61.1)	1,690(▲71.7)	来日川合流部整備工事 他1件
独立行政法人等	13(▲31.6)	1,775(▲14.4)	30-武庫川団地EV設置・11号棟外壁修繕・窓建具改修その他工事 他2件
兵庫県	177(7.9)	13,351(62.1)	宮知第18号兵庫県立大学国際学生寮(仮称)建築工事 他3件
神戸市	51(▲15.0)	3,945(26.8)	30A3-006房王寺住宅2号棟耐震改修及び外壁改修工事 他2件
神戸市を除く市町	213(▲15.5)	8,999(▲11.2)	あまがさき・ひと咲きプラザ整備工事 他3件
その他の団体	20(▲47.4)	1,113(▲53.1)	尼崎市東部浄化センター建設工事その5 他1件
合計	488(▲14.2)	30,875(▲3.2)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿 易】

平成 30 年 10 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 8,229 億円、前年同月比 9.2%の増加で、総額ベースで 2 か月ぶりに増加となった。輸出は電池などが減少したものの、自動車の部分品、無機化合物などが増加した。一方、輸入はたばこなどが減少したものの、衣類及び同附属品、有機化合物などが増加した。

輸出は 5,086 億円(前年同月比 8.4%増)と 2 か月ぶりに増加した。

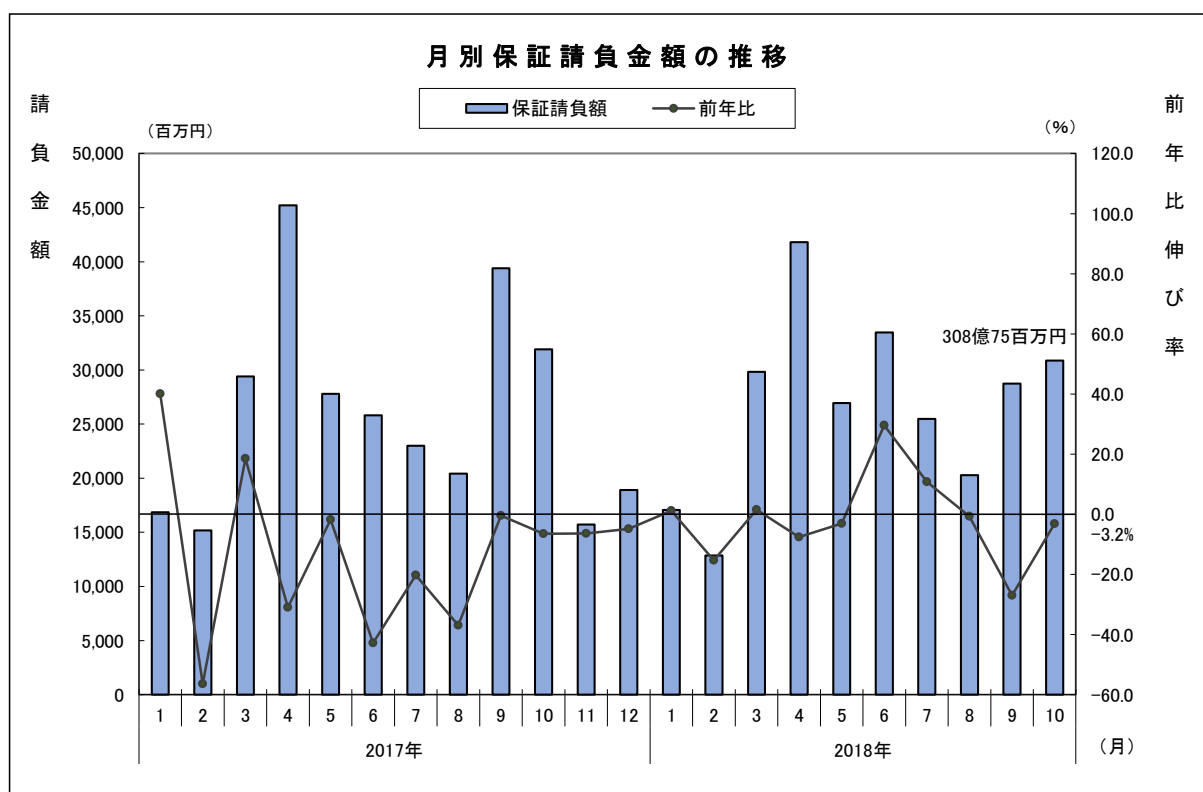
主要品目では、プラスチック(前年同月比 4.7%増、2 か月ぶりにプラス)、織物用糸及び繊維製品(同 1.0%増、2 か月ぶりにプラス)、原動機(同 19.1%増、2 か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同 10.5%増、2 か月ぶりにプラス)が増加した。

主要地域(国)別では、アジア(前年同月比 5.4%増、2 か月ぶりにプラス)、中国(同 4.6%増、2 か月ぶりにプラス)、米国(同 9.4%増、2 か月ぶりにプラス)、EU(同 10.1%増、2 か月ぶりにプラス)が増加した。

輸入は 3,143 億円(前年同月比 10.4%増)と 2 か月ぶりに増加した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比 19.5%増、4 か月連続プラス)、衣類及び同附属品(同 25.6%増、2 か月連続プラス)、非鉄金属(同 12.3%増、24 か月連続プラス)が増加したが、たばこ(同 47.7%増、3 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比 37.6%増、7 か月連続プラス)、アジア(同 23.2%増、7 か月連続プラス)、米国(同 19.3%増、9 か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同 13.4%減、3 か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が101.8(2015年=100)となり、前月比は0.4%、前年同月比は1.1%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は101.4となり、前月比0.5%、前年同月比は0.6%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く指数は101.6となり、前月比は0.4%の増加、前年同月比は0.3%の増加となった。

前月からの動きを見ると、設備修繕・維持の増加により「住居」が0.7%、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が0.9%、医療などの増加により「被服及び履物」が1.1%、たばこなどの増加により「諸雑費」が0.7%、自動車等関係費などの増加により「交通・通信」が0.3%、家庭用耐久財などの増加により「家具・家事用品」が1%、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.4%、医薬品・健康保持用摂取品などの増加により「保健医療」が0.1%増加した結果、総合指数では0.4%の増加となった。

○対前月比値上がりした主な品目

設備修繕・維持 (4.8%)・・・水道工事費、システムキッチン
 教養娯楽サービス (1.2%)・・・ゴルフプレー料金

○対前月比値下がりした主な品目

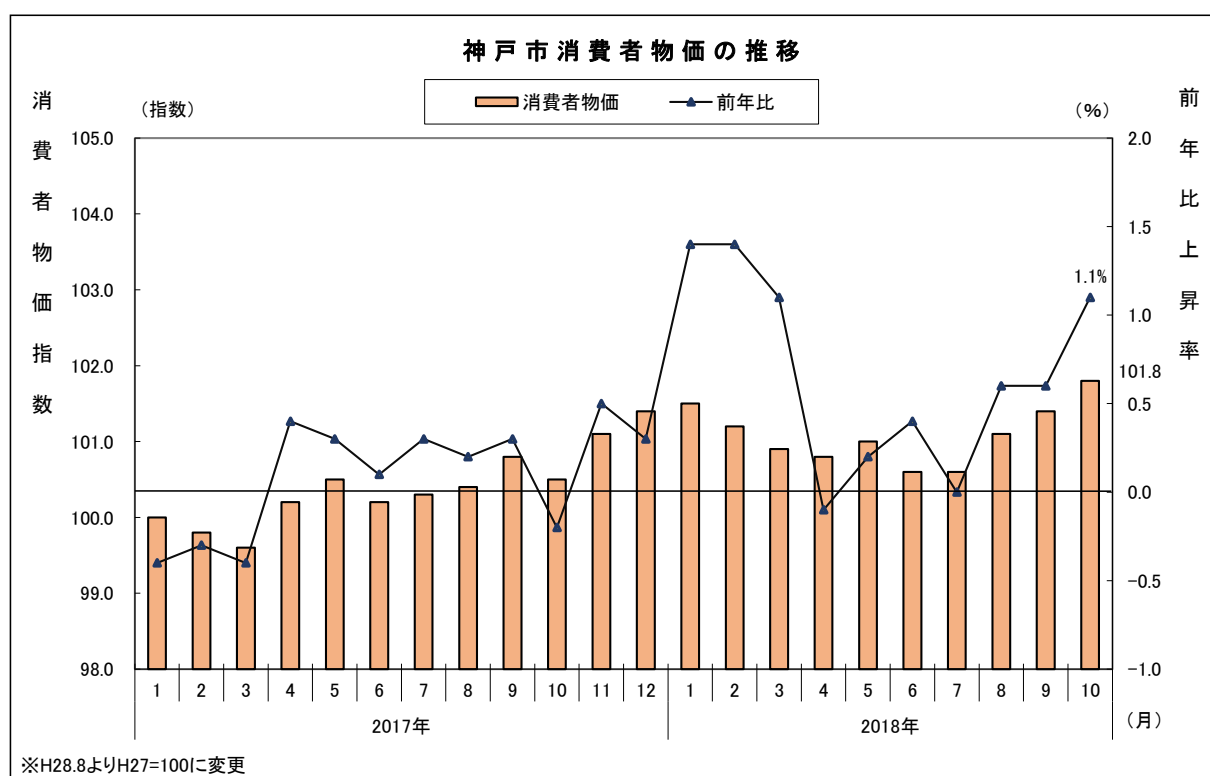
魚介類 (▲5.1%)・・・さんま、さけ

10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	101.8	104.9	101.0	95.8	996.8	102.4	103.8	99.6	103.2	101.4	103.0	101.4	101.6
前月比	0.4	0.0	0.7	0.4	1.0	1.1	0.1	0.3	0.0	0.9	0.7	0.5	0.4
前年同月比	1.1	2.7	0.4	1.1	▲0.6	▲0.6	1.8	1.0	0.9	0.1	1.1	0.6	0.3

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2018年10月の企業物価指数は次のとおり。

10月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

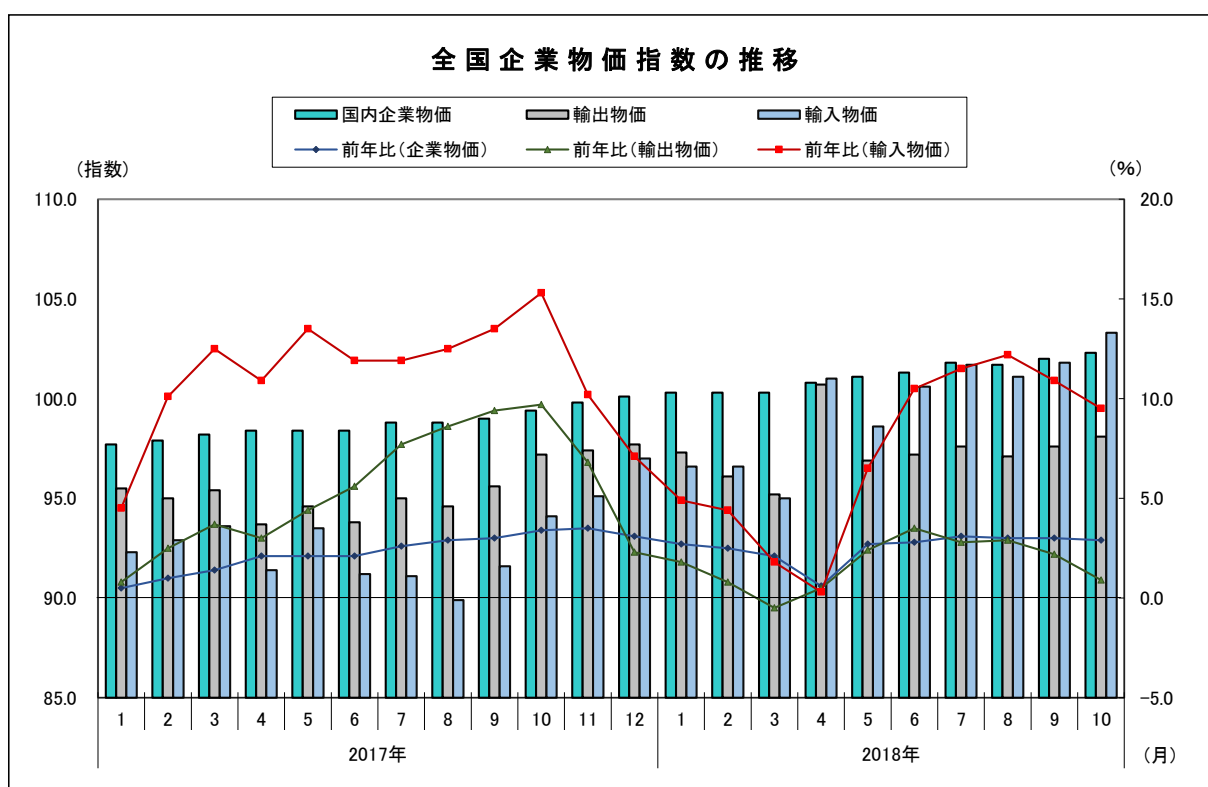
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.3	0.3	2.9
輸 出 物 価	98.1	0.6	0.9
輸 入 物 価	103.3	1.6	9.5

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物（前月比1.0%減＜豚肉など＞）、電力・都市ガス・水道（同2.6%減＜業務用高圧電力など＞）等が減少したが、石油・石炭製品（同4.9%増＜ガソリンなど＞）、スクラップ類（同1.6%増＜鉄くずなど＞）、非鉄金属（同1.0%増＜銅地金など＞）、電気機器（同0.7%増＜監視制御装置など＞）、生産用機器（同0.4%増＜掘さく機など＞）、プラスチック製品（同0.3%増＜輸送機械用プラスチック製品など＞）、鉄鋼（同0.3%増＜機械構造用炭素鋼など＞）等が増加し、円ベースでは前月比0.3%の増加（前年同月比2.9%増）となった。

輸出物価は、その他産品・製品（前月比1.9%増＜軽油など＞）、化学製品（同0.9%増＜パラキシレンなど＞）、輸送用機器（同0.6%増＜工藤・伝導・操縦装置部品など＞）等が増加し、円ベースでは前月比0.6%の増加（前年同月比0.9%増）となった。

輸入物価は、化学製品（前月比0.1%減＜飽和ポリエステル樹脂など＞）等が減少したが、石油・石炭・天然ガス（同4.6%増＜原油など＞）、電気・電子機器（同0.3%増＜ディスプレイデバイスなど＞）、その他産品・製品（同0.3%増＜原塩など＞）、はん用・生産用・業務用機器（同0.2%増＜バルブなど＞）、飲食品・食料用農水産物（同0.2%増＜コーヒー豆など＞）、金属・同製品（同0.0%増＜ニッケル地金など＞）等が増加し、円ベースでは前月比1.6%の増加（前年同月比9.5%増）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、33,262人(前年同月比0.1%減)で、36か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求人数(全数)は101,340人(同4.2%増)で101か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比0.1%増で8か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.1%減で33か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同6.1%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比4.6%増)、宿泊業、飲食サービス業(同13.0%増)、医療、福祉(同1.5%増)、サービス業(同0.2%増)は増加したが、建設業(同0.2%減)、運輸業、郵便業(同2.3%減)、卸売業、小売業(同5.0%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同10.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(16.5%減)は減少した。

(2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は14,174件(前年同月比19.0%減)で12か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、69,332人(同7.3%減)で100か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比18.2%減で25か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同20.6%減で4か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比34.2%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比21.1%減で12か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同12.5%減で6か月連続して減少した。自己都合離職者は同16.0%減で34か月連続して前年を下回り、自営・他は同48.8%減で10か月連続して前年を下回った。無業者は同22.4%減で81か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、19,625人(前年同月比3.7%増)で3か月連続して前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.42倍(前月比0.33ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率が1.49倍で前月を0.03ポイント上回った。

(4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.3%、完全失業者数(原数値)は162万人(前年同月比28万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.1%(前年同月比0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は33万人(前年同月差1万人減)であった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
30年9月	33,262	2,291	4,454	284	1,623	3,857	199	668	724	2,431	1,215	9,620	4,574
前年同月比	▲0.1	▲0.2	4.6	▲17.9	▲2.3	▲5.0	10.6	▲12.5	▲10.8	13.0	▲16.5	1.5	0.2

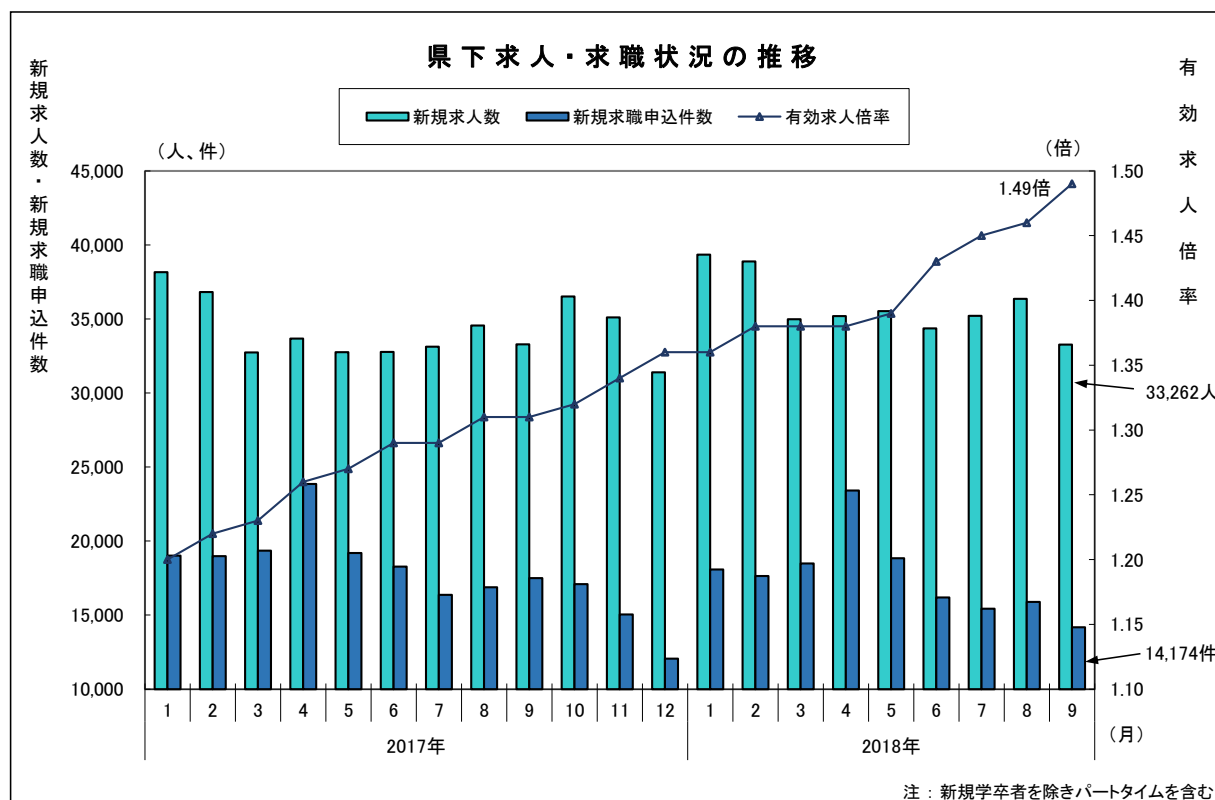
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	17/7-9	17/10-12	18/1-3	18/4-7	18/7	18/8	18/9
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.30	1.33	1.37	1.40	1.45	1.46	1.49
新規求人数 (原数値、前年比%)	6.0	9.7	5.2	5.9	6.3	5.2	▲0.1
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	0.6	▲0.7	4.7	9.3	6.3	9.6	8.2
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	▲1.0	▲0.6	0.3	0.5	1.1	1.0	0.4
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.7	1.8	1.2	2.3	1.3	2.1	1.5

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

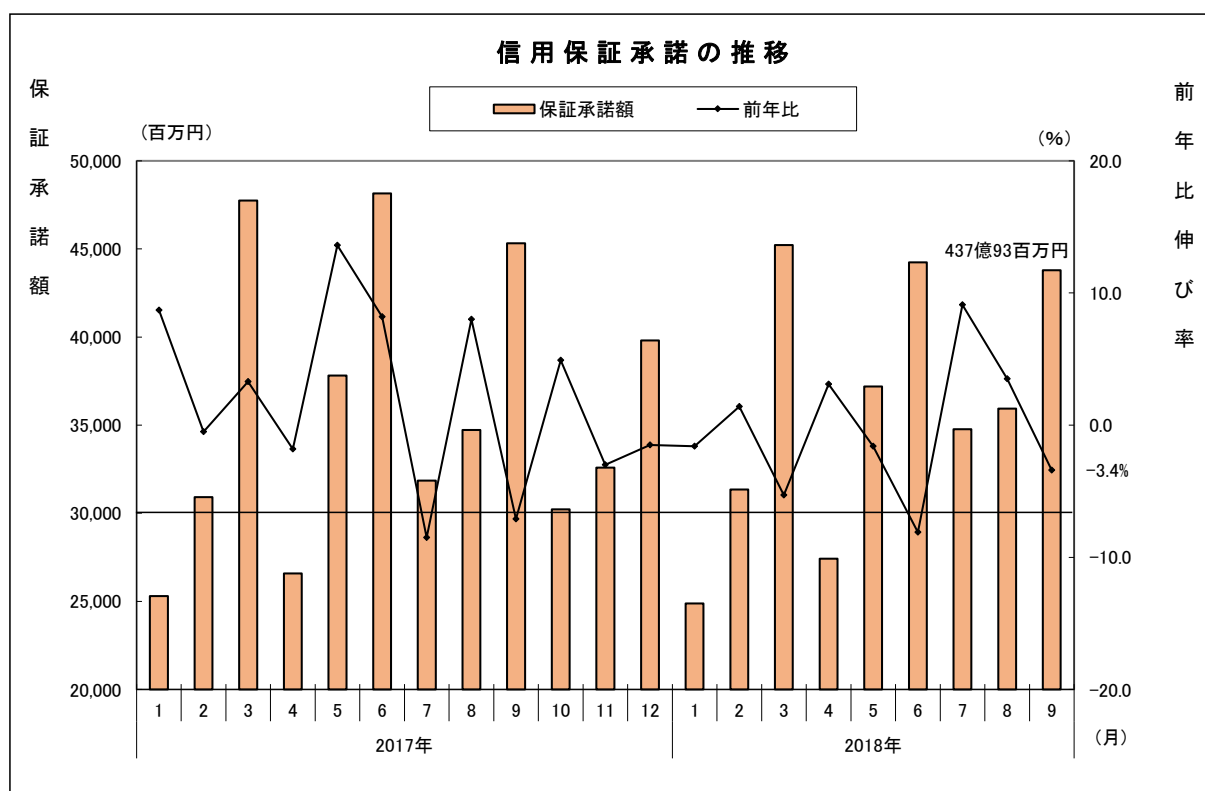
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾は、件数で2,379件(前年同月比10.1%減)、金額は437億93百万円(同3.4%減)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

資金用途別では、運転資金40,907百万円(前年同月比3.6%減)、設備資金999百万円(同5.7%減)となり、前年同月と比べ、運転資金、設備資金ともに下回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」2,575百万円(前年同月比6.5%増)、「製造業」8,282百万円(同6.2%増)、「卸売業」6,733百万円(同1.9%増)で前年同月を上回り、「建設業」11,404百万円(同4.9%減)、「運送・倉庫業」2,804百万円(同6.1%減)、「サービス業」5,471百万円(同6.5%減)、「小売業」5,060百万円(同14.0%減)、「飲食店」1,072百万円(同16.0%減)で前年同月を下回った。

9月末の保証債務残高は、91,939件(前年同月比0.6%減)、1兆958億26百万円(同0.2%増)となった。

一方、同月の代位弁済は、130件(前年同月比12.2%減)、14億99百万円(同5.4%増)となった。



【金 融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

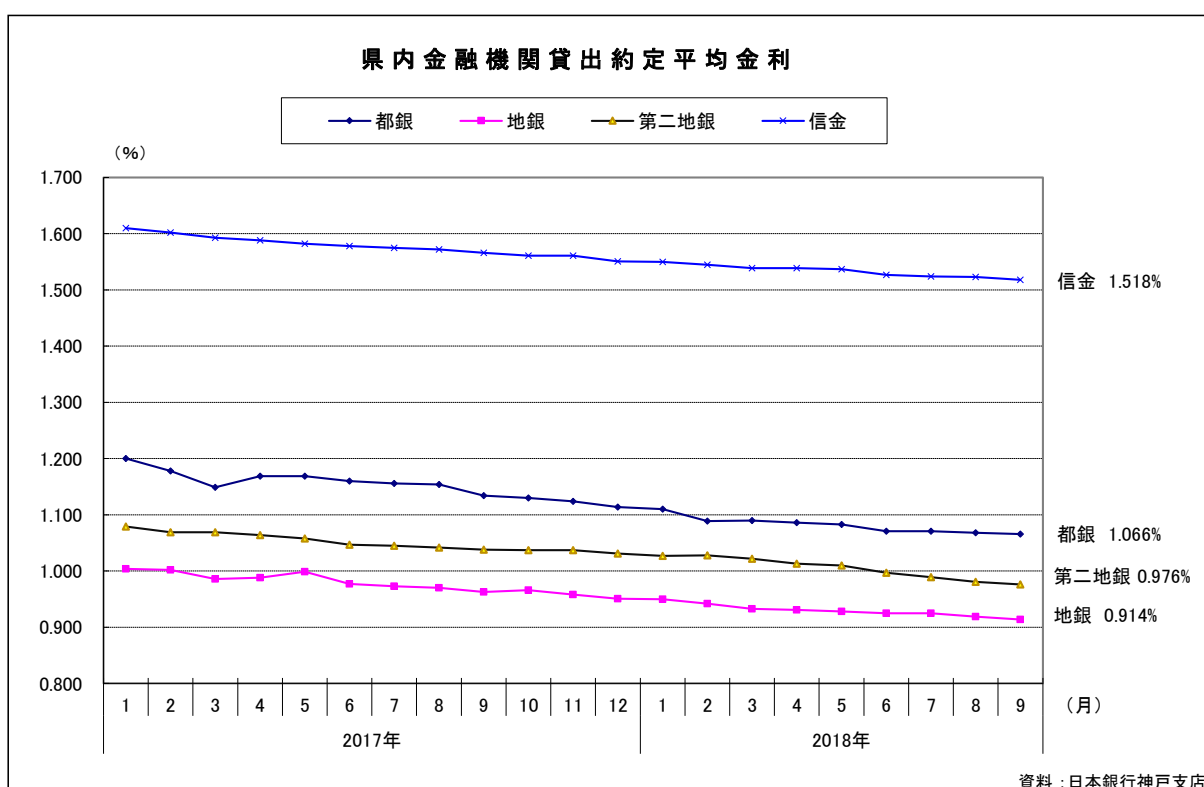
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	169,073	3.1	52,206	▲ 1.4
地 方 銀 行	28,738	1.6	29,461	6.2
第 二 地 方 銀 行	35,836	3.1	23,870	2.3
信 用 金 庫	87,716	1.4	40,492	0.8
そ の 他	18,588	1.9	17,526	0.1
計	339,951	2.5	163,555	1.2

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.5%増)

9月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比1.2%増)

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.179%、前月比▲0.004%ポイント)。



【倒産】

県内10月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は47件で前月比25件（113.63%）の増加、前年同月比15件（46.87%）の増加となり、負債総額は34億24百万円で前月比12億71百万円（59.03%）の増加、前年同月比16億34百万円（91.28%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が41件（全体の87.2%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が18件（前年同月比7件増加）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が34件発生し、全体の72.3%を占めた。

2018年10月の倒産件数は、前年同月比では7か月ぶりに増加となり、負債総額は、10億円以上の大口倒産はなかったが、件数が増加したことで本年度で3番目に大きい水準となった。

当月も「小規模な倒産」が主流となり、環境変化に対応できない中小・零細企業の市場からの退場は続いている。

日本銀行神戸支店が11月5日に発表した兵庫県内の金融経済概況は、「管内の景気は、一部に台風の影響がみられるものの、基調としては緩やかに拡大している」とし、2月に引き上げた基調判断を8か月連続で据え置いている。

大手製造業を中心に景気拡大基調は継続しており、当地の中小企業も足元の業績は堅調に推移しているところが少なくない。ただ、燃料、原材料価格の高騰や運送費の上昇、人手不足による稼働率の伸び悩み、人件費の高騰などが顕在化しており、これらが企業の景況感を押し上げる原因となっている。また米中の通商政策をはじめとした海外情勢が気にかかるほか、今しばらくは夏場の天候不順、県下に甚大な被害をもたらした台風21号の影響などが大きな懸念材料となっている。10月の倒産件数は、9月の反動とも見られる大幅な増加に転じたが、今のところ企業倒産が増加基調に転じる要因は少ない。従って当面企業倒産が大きく増勢に転じるおそれは少ないものの、小規模・零細企業を中心に引き続き一進一退の状況が続くものと見られる。

10月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	5	5	0	3	2	建設業	8	3	5	6	2
過小資本	0	1	▲1	2	▲2	製造業	9	1	8	7	2
連鎖倒産	0	0	0	2	▲2	卸売業	5	1	4	2	3
赤字累積	7	1	6	0	7	小売業	6	5	1	5	1
販売不振	34	14	20	24	10	情報通信業	0	0	0	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	18	11	7	11	7
その他	1	1	0	1	0	不動産・運輸業他	1	1	0	1	0
合計	47	22	25	32	15	合計	47	22	25	32	15

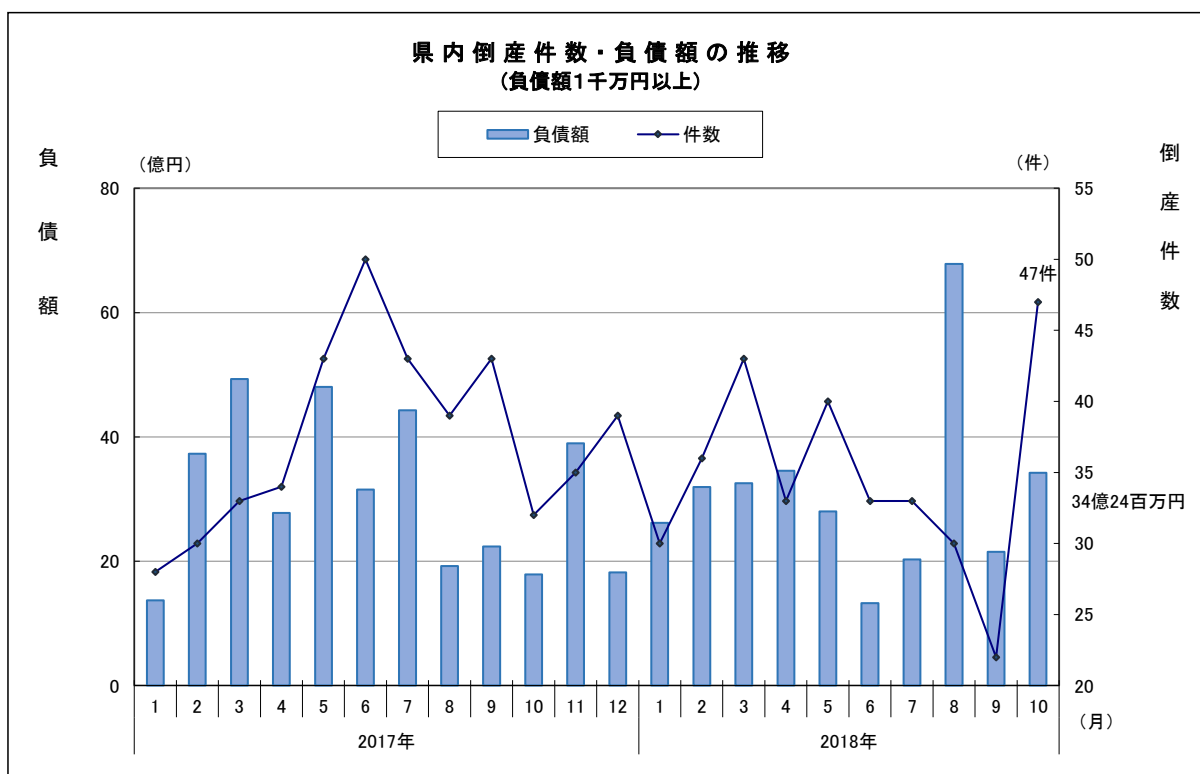
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0
29年 3月	33	12	8	4	6	2	0	1
29年 4月	34	14	10	4	3	0	2	1
29年 5月	43	20	14	4	2	2	0	1
29年 6月	50	16	20	4	5	4	1	0
29年 7月	43	17	12	8	5	1	0	0
29年 8月	39	14	8	9	4	2	0	2
29年 9月	43	11	20	8	2	1	0	1
29年 10月	32	7	8	7	7	1	0	2
29年 11月	35	14	7	6	4	1	1	2
29年 12月	39	15	12	1	7	1	1	2
30年 1月	30	12	4	6	5	2	0	1
30年 2月	36	18	6	5	5	2	0	0
30年 3月	43	15	16	5	5	1	0	1
30年 4月	33	11	8	7	7	0	0	0
30年 5月	40	17	12	9	2	0	0	0
30年 6月	33	13	6	4	3	3	2	2
30年 7月	33	10	12	6	4	0	0	1
30年 8月	30	11	15	1	2	0	1	0
30年 9月	22	9	7	0	3	1	2	0
30年 10月	47	19	13	7	3	3	0	2

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	162	△ 3.0	△ 1.1	13,816	1.4	4.4
2月	105.8	12.3	101.7	3.2	132	△ 4.1	△ 2.7	17,070	7.8	8.2
3月	97.2	△ 8.5	99.8	△ 1.9	157	△ 2.4	△ 0.8	23,033	11.6	9.6
4月	103.8	6.8	103.8	4.0	117.4	0.3	1.1	11,695	5.1	10.4
5月	100.8	△ 3.6	100.1	△ 3.6	117.7	△ 3.2	△ 0.6	12,649	12.9	13.4
6月	104.1	2.9	102.3	2.2	119.5	△ 0.5	△ 1.4	15,276	11.6	15.1
7月	96.3	△ 8.5	101.5	△ 0.8	144.7	△ 2.0	△ 0.2	13,775	0.0	2.6
8月	106.4	7.3	103.5	2.0	112.7	0.7	0.6	11,369	7.8	4.1
9月	94.6	△ 11.2	102.5	△ 1.0	106.9	△ 1.8	1.9	16,788	8.0	5.3
10月	103.1	8.4	103.0	0.5	116.4	△ 5.1	△ 0.5	12,413	△ 3.0	△ 1.2
11月	104.3	1.5	103.5	0.5	129.8	△ 0.4	3.6	13,241	△ 4.7	△ 2.7
12月	99.5	△ 5.1	106.5	2.9	188.7	△ 1.6	0.8	13,867	1.5	△ 0.8
30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月	102.6	△ 1.5	104.6	0.5	112.4	△ 4.2	1.5	12,334	5.5	2.6
5月	100.4	△ 2.6	104.4	△ 0.2	108.3	△ 8.0	△ 1.2	12,780	1.0	△ 1.5
6月	100.9	0.0	102.5	△ 1.8	113.5	△ 5.1	4.0	14,570	△ 4.6	△ 5.3
7月	97.3	△ 4.0	102.3	△ 0.2	124.5	△ 14.0	△ 5.1	14,531	5.5	3.3
8月	101.4	3.5	102.5	0.2	106.7	△ 5.3	0.6	11,665	2.6	4.0
9月	96.7	△ 4.9	102.9	△ 0.4	98.7	△ 7.7	△ 2.6	16,654	△ 0.8	△ 3.3
10月								14,216	14.5	11.6
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
29年 1月	3,297	6.0	12.8	168	40.1	7.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	3,190	47.8	△ 2.6	151	△ 56.4	10.4	4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月	2,403	△ 21.3	0.2	293	18.5	10.9	5,271	8.4	2,777	8.5
4月	2,976	△ 1.4	1.9	452	△ 31.0	1.7	4,531	1.4	2,664	12.6
5月	3,028	36.5	△ 0.3	278	△ 1.8	8.5	4,174	12.9	2,760	14.4
6月	2,848	△ 1.3	1.7	258	△ 42.8	△ 0.6	4,850	8.2	2,726	14.2
7月	2,918	△ 3.8	△ 2.3	230	△ 20.3	△ 5.4	4,585	9.0	2,619	14.7
8月	3,017	6.7	△ 2.0	204	△ 36.9	△ 7.9	4,607	17.5	2,792	20.1
9月	2,696	△ 16.7	△ 2.9	393	△ 0.4	△ 10.4	4,914	17.9	2,615	15.8
10月	2,771	△ 1.4	△ 5.3	319	△ 6.5	3.9	4,691	14.4	2,843	28.6
11月	2,766	△ 7.9	△ 0.4	157	△ 6.4	5.0	5,056	18.6	2,891	12.2
12月	2,993	4.3	△ 2.1	189	△ 4.9	△ 6.4	5,349	8.5	2,701	8.3
30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月	2,545	△ 14.5	0.3	418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月	2,440	△ 19.4	1.3	269	△ 3.1	3.5	4,660	11.6	3,109	12.7
6月	2,791	△ 2.0	△ 7.1	334	29.6	△ 5.6	5,266	8.5	2,788	2.3
7月	2,900	△ 0.6	△ 0.7	254	10.8	△ 2.9	4,886	6.6	3,053	16.5
8月	2,506	△ 16.9	0.3	202	△ 0.7	△ 2.2	5,074	10.1	2,884	3.2
9月	2,240	△ 16.9	△ 1.5	287	△ 27.0	△ 7.6	4,386	△ 10.8	2,425	△ 7.3
10月				308	△ 3.2	9.5	5,086	8.4	3,143	10.4
11月										
12月										
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
29年 1月	100.0	△ 0.4	100.0	0.4	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4
2月	99.8	△ 0.3	99.8	0.3	1.22	1.43	1,045	△ 0.2	100.8	0.3
3月	99.6	△ 0.4	99.9	0.2	1.23	1.45	1,041	△ 0.1	102.7	0.6
4月	100.2	0.4	100.3	0.4	1.26	1.48	1,055	△ 0.3	103.8	1.7
5月	100.5	0.3	100.4	0.4	1.27	1.49	1,055	△ 0.5	102.0	0.8
6月	100.2	0.1	100.2	0.4	1.30	1.51	1,054	△ 0.8	102.3	1.4
7月	100.3	0.3	100.1	0.4	1.30	1.52	1,056	△ 0.4	101.6	0.0
8月	100.4	0.2	100.3	0.7	1.32	1.52	1,054	△ 0.3	101.7	0.6
9月	100.8	0.8	100.5	0.7	1.30	1.52	1,050	△ 0.5	102.9	1.3
10月	100.5	△ 0.2	100.6	0.2	1.31	1.55	1,052	△ 0.1	103.3	2.0
11月	101.1	0.5	100.9	0.6	1.32	1.56	1,053	0.1	102.9	0.3
12月	101.4	0.3	101.2	1.0	1.36	1.59	1,047	△ 0.4	103.3	1.0
30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6	100.9	0.6	1.38	1.59	1,075	△ 0.3	108.0	4.0
5月	101.0	0.2	101.0	0.7	1.39	1.60	1,080	0.1	107.1	5.0
6月	100.6	0.4	100.9	0.7	1.43	1.62	1,080	0.2	107.8	5.4
7月	100.6	0.2	101.0	0.9	1.45	1.63	1,077	△ 0.3	106.7	5.0
8月	101.1	0.6	101.6	1.3	1.46	1.63	1,075	△ 0.3	106.8	5.0
9月	101.4	0.6	101.7	1.2	1.49	1.64	1,072	△ 0.1	107.5	4.5
10月	101.8	1.1								
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫県労働局		兵庫県統計課			

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)		全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数	
	指数	前年比 (%)			神戸 (件)				阪神 (件)	播磨他 (件)
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0	158,720	1.9	0.992	30	37	14	9	7
3月	98.2	1.4	163,048	1.2	0.982	33	49	12	8	13
4月	98.4	2.1	160,035	2.3	0.982	34	27	14	10	10
5月	98.4	2.1	160,253	2.8	0.976	43	48	20	14	9
6月	98.4	2.1	160,054	2.1	0.969	50	31	16	20	14
7月	98.8	2.6	160,032	1.6	0.965	43	44	17	12	14
8月	98.8	2.9	160,027	2.0	0.962	39	19	14	8	17
9月	99.0	3.0	161,682	2.1	0.955	43	22	11	20	12
10月	99.4	3.4	160,424	2.0	0.955	32	17	7	8	17
11月	99.8	3.5	160,904	1.9	0.954	35	38	14	7	14
12月	100.1	3.1	162,274	1.8	0.946	39	18	15	12	12
30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3	0.932	43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0	162,625	1.6	0.929	33	34	11	8	14
5月	101.1	2.7	161,836	1.0	0.927	40	28	17	12	11
6月	101.3	2.8	162,911	1.8	0.921	33	13	13	6	14
7月	101.8	3.1	162,277	1.4	0.918	33	20	10	12	11
8月	101.7	3.0	162,402	1.5	0.917	30	67	11	15	4
9月	102.0	3.0	163,555	1.2	0.912	22	21	9	7	6
10月	102.3	2.9				47	34	19	13	15
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値